

郷土を知り、郷土を愛する

## 志木市 歴史とんぼ

— 執筆・協力 志木のまち案内人の会 —

## 第49回 中宗岡の御嶽塚

志木市には富士山のミニチュアである「田子山富士塚」(国指定:重要有形民俗文化財)や「羽根倉富士塚」(市指定:有形民俗文化財)があることは知られていますが、実は木曾御嶽山のミニチュア「中宗岡の御嶽塚」もあります。

この山は、産財氷川神社の南隣りに、明治25年(1892年)ころに築造されました。高さ約5.4mで、頂上には木曾御嶽山がある西の方



角に向けて御嶽山大神が建てられています。麓から頂上までジグザグの登山道が造られており、木曾御嶽山の王滝口登山道に倣って神社や記念碑、合目石などの石造物が66点も林立しています。山にかぶさるように生えている赤松の大木とともに、築造以来130年余りも立派に守られて来たことに感動を覚えます。

宗岡には小日向鎌之助(行名:知足行者)や市之瀬榮山といった先達(せんだつ)がいて、明治時代(150年前)から御嶽講が盛んな地域でした。宗岡御嶽講(一山講)

は、木曾御嶽山の麓に宗岡の先人が建てた石碑にお詣りをし、翌日に登山する伝統行事を継続しており、今年も行ったそうです。

この山は、昨年所有者である個人より志木市に寄贈され、「中宗岡の御嶽塚」として市の有形民俗文化財に指定されました。保存状態が良く由緒あるこの文化財をぜひ見ていただき、地域の歴史伝統文化を味わってはいかがでしょうか。



▲正面から見た御嶽塚



▲横から見た御嶽塚



## 駅に繋がる、人も繋がる 志木駅東口ペDESTリアンデッキ

いろは親水公園のウォーターパークは、9月16日をもって、今年も大盛況のうちに終了しました。中洲ゾーンの人気ベーカリーカフェや左岸ゾーンの遊具とともに、無料の住宅情報誌の特集「埼玉の街 すごい公園」で紹介されるなど、その魅力は市外にまで発信されています。

夏の水遊び期間が終わったあとも、複合遊具で遊べるほか、川辺に広がる四季折々の自然を感じられる散策路や年間を通じたさまざまなイベントなど、1年を通してその魅力を楽しめます。いろは親水公園のホームページで紹介していますので、気温も下がり過ごしやすいこの季節に、ぜひお立ち寄りください。

さて、このいろは親水公園は、民間のノウハウを活かした整備・運営が特徴です。市では、多様化するニーズに応えるため、民間の力をお借りして、さまざまなサービスを展開しています。公共施設などに設置した専用ステーションから自転車をレンタルできる「シェアサイクル」や、ご高齢の方などがご自宅の近くで買い物ができ

るよう、販売車が市内34か所を巡回する「移動スーパー」など、民間企業と協働した取組を展開しています。

この8月には、マルイファミリー志木を出店している、株式会社丸井との包括連携協定を締結しました。この協定は、経済、文化、子育て、健康など幅広い分野での連携を図るものであり、本市とともに地域を盛り上げていこうという熱意を嬉しく感じています。原稿執筆時点では、9月28日・29日に志木駅東口で開催されるキックオフイベント、「志木駅前の特別な2日間 秋の『こどもペDESTリアン共和国』」の実施に向け、マルイファミリー志木と志木市が協力し、鋭意準備を進めています。パルクール鬼ごっこやシャボン玉遊び、チョーク遊びを楽しめるエリアのほか、体操・ダンスを披露するステージなど、盛りだくさんのコンテンツを楽しむ子どもたちの姿を想像しながら、大成功を願っています。

また、10月13日・14日にも、志木市商工会青年部が主催する「スパイシーフェス2024」がペDESTリアンデッキにて開催されますので、ぜひ、本市自慢の市民力の活気の中で一堂に会するグルメをご堪能ください。

これらのイベントの舞台となる志木駅東口ペDESTリアンデッキは、平成12年の完成から24年が経過し、老朽化していることから、改修に向けた検討をしており、あわせて、志木市の玄関口として思わず足が向いてしまうような、新たな交流・憩いの場とするための検討も行っています。今後、商店会や学生など地元の方や有識者の方にご参加いただくワークショップを開催し、ペDESTリアンデッキの新たな活用に向け、夢のあるアイデアを議論していきます。